

記入日：令和 2年 5月 15日

1. 事業所名（事業名）

就労移行支援事業所 でらいとわーく

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

精神障害、知的障害、発達障害、高次脳機能障害

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
10:30 ～ 12:00	電話確認（朝）	電話確認（朝）	電話確認（朝）	電話確認（朝）	電話確認（朝）
	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施
昼食					
13:00 ～ 15:10	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施
	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
電話確認（朝）	体調・検温、本日の課題の確認をします	5分	その日の状況確認ができています。
電話確認（夕）	体調・検温、その日の課題結果、次の日の予定の確認をします	5分	その日の状況確認ができています。各自の進捗状況に応じて訪問や通所等で不足分や新規課題を渡すことができました。
日報記入	体調・検温、その日のプログラムの目標・内容・結果、次回の目標、服薬管理など記入をします	15分	その日の目標、流れ、実施内容の確認ができます。これを元に週の振り返りがしっかりできます。
生活リズム表記入	睡眠、食事、プログラム、運動などの時間を表に記入。疲労度や気分指数を起床時・午前・午後・就寝時の4つに区切り、5段階評価で付けます	5分	日々の生活リズムが、見える化でき、振り返りの際的確にアドバイスすることができます。
セルフケアシート	各自の良好サイン、注意サイン、悪化サインに対して日々の状況をチェックし、それ	5分	分かりにくい状態が可視化され、本人への理解が深まること

	に対してセルフケアが出来ているかチェックします		で適切な配慮提供ができます。
公文	国語・数学を取り組んで貰い、自分で目標をたて、自学学習を行います	60分	自学自習で自分にとって「ちょうどいい」を見つけ、自分で立てた目標を達成して自己肯定感を養います。
就労パスポート記入	今後の就職活動に向けて、履歴書・職務経歴書の作成準備や自分トリセツの作成をします	120分	過去の経験と今できることを棚卸し、自己分析をすることができます。
マナートレーニング	トレーニング教本を元に、問題の穴埋めをします	60分	就労で大切な社会人としてのマナーを習得できます。
リカバリーシート	自分らしさやいい感じの自分を保つため、自分の魅力の引き出しや回復を目指します。	60分	自分の特徴や魅力などを整理することができました。
パソコントレーニング	タイピング問題など課題に取り組んでもらいます	30分	集中して取り組むことができました。

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- ・個別支援計画に基づいて作成した1日のスケジュールを元に、在宅訓練を行う。
- ・電話確認(朝・夕)以外に、こまめに電話が受けられるように、職員が対応している。
- ・週1回、訪問又は通所して課題を回収して、チェックをして、振返りをおこなっている。
- ・月1回、通所してテレワーク振返りチェックシートに沿って、面談を実施している。

②就職活動支援

- ・就労パスポートを記入してもらい、履歴書・職務経歴書を記入する準備をする。
- ・マナートレーニングを通して、面接等で必要なマナーを習得する。

③生活支援

- ・毎日本温を測ってもらい、電話した際に確認をする。日報にも記載をしてもらう。
- ・朝から生活リズムが崩れてしまうケースもあり、朝の電話連絡をこちらから実施したり、家族や医療機関と連携しながら問題解決を図っている。

④その他

- ・新型コロナウイルスで不安になっている利用者や就職活動が止まっていることで不安になっているケースに関しては、安全に配慮しながら面談や電話での相談を実施している。

5. その他

1) 参考資料

①参考書籍

- ・マナートレーニングテキスト・リカバリーの学校の教科書
- ・できる大人の語彙力

②WEBサイト

- ・脳トレマッチ棒クイズ・時事問題
- じじもんスクラム

2) 課題

- ・今後は電話以外に、日ごろからメール、ZOOMなどオンラインシステムなどの機能が使えるように準備しておく必要があった。

記入者： 紺屋 信明